

教育保育目標: 『心もからだも健康な子ども』

●意欲をもって行動する子ども ●豊かな感性をもった子ども ●友達と仲良く遊ぶ子ども ●丈夫で元気な子ども ●気持ちや考えを伝える子ども

「暑いですね。」挨拶ではこの言葉を控えようと思っ
ていても、つい口から出てしまうような今夏の暑さ。昨
年も記録的な暑さでしたが、それ以上でした。そのせいで
園庭での遊びはほとんどできませんでしたが、その代わり
大きなプールや年齢に応じてたらいやビニルプールを使っ
た水遊びを思う存分に楽しむことができました。思い切り遊
んだ後、エネ

ルギーいっぱいの子もたちも、昼寝の時間にはぐっすり。
遠くからサル除けの空砲が聞こえる中、穏やかに眠る子どもたちの寝顔を
見ていると、暑さも忘れ、なんともどかたで平穏な気持ちになります。



平和な竹の友に、この夏最大の事件が! スイカを食べた犯人はだれ…?

事件は8月7日。朝きりん組(5歳児)のテラスに野菜が食べ散らかされていました。春先から子どもたちが丹精込めて育てていた、トマトやキュウリ、ピーマンです。トマトは上手に皮だけが残され、小さなレモンは半分がじられ捨てられていました。もしか?畑のスイカは大丈夫かな…? 心配になった子どもたち。畑に行ってみると案の定やられていました。鳥対策にかごや手桶をかぶせていたのですが効果はなかったようです。「犯人はだれだ!」犯人探しが始まりました。プールサイドに落ちていたスイカの皮が犯人を絞り込む有力な手掛かりになったようです。2日後、今度はさつまいものつるが引っかかれる被害にあいました。犯人はおわかりでしょうか?

自然豊かな里山に囲まれた竹の友ならではの事件でした。こんな体験をすることで、これから大きくなって「人と野生動物との付き合い方」を話し合う時に、しっかり自分の言葉で語れるようになるのではないのでしょうか。



サルにあらされる前のスイカ畑



「トマトの枝をすごい力でおったんだよ!」



上手に赤い実の部分だけ食べました

思い切り水遊びを楽しむことができました

今年も各地で水による痛ましい事故が多発しました。竹の友では、水の事故防止に十分注意しながら、水遊びに親しませる機会をもうけてきました。

遊びはそれぞれ子どもによって興味・関心の程度や取り組む意欲が異なることは言うまでもありません。中でも水遊びに対する気持ちはその差がとても大きいよう

です。色んな活動を体験して体の使い方を覚える幼児期。プールが苦手な子どももいましたが、水への抵抗感を少しでも小さくしながら水遊びの楽しさにたくさん触れさせることができました。

プールカードや水着、着替えの準備など、ご家庭からのご協力に感謝申し上げます。

ひよこ:下から出る噴水に大はしゃぎ…



うさぎ:気分はワニさんになって…



ことり:好きなおもちゃをもって…



の
予定

- 1日(金) 観劇(2~5歳児)
- 2日(土) 希望保育
- 7日(木) 完全給食
- 8日(金) えいごであそぼう
- 9日(土) 希望保育
- 16日(土) 希望保育
- 18日(月) 敬老の日
- 19日(火) 食育の日
- 20日(水) えいごであそぼう

- 22日(金) 園だより配付
- 23日(土) 秋分の日
※希望保育はありません
- 25日(月) 教育実習(10/13まで)
- 28日(木) 避難訓練
- 29日(金) 各種たより配付
布団・靴持ち帰り
- 30日(土) 希望保育

お知らせとお願い

【コロナウイルスの感染、依然注意が必要です】
お盆や夏の行事で人との交流が盛んになっているからでしょうか、感染者数が増加しているようです。8月中も家族が感染したという報告が複数件ありました。引き続き感染対策にご協力をお願いします。

○感染症が疑われる、発熱、咳、嘔吐、下痢、目の充血、目やに等の症状があった場合は、受診をして安全が確認されたからの登園をお願いします。

【人形劇鑑賞「ちょうちん座」9月1日(金)】

子どもたちは日常様々なメディアに接していますが、生の人形劇を目にすることは少ないのではないのでしょうか。園では毎年「ちょうちん座」をお呼びして人形劇を見せてもらっています。2.3歳児向けの前半と4.5歳児向けの後半の2部制です。

- あひる・うさぎ組—
- ① 海のなかの小さな世界
- ② トガリネズミとアナグマ
- ばんだ・きりん組—
- ① 海のなかの小さな世界
- ② ひげ先生がやってきた

劇の様子や感想をお家でも聞いてあげてください。きりん組は舞台裏探検もあります。

観劇代として500円程度、ご負担をお願いしますが、よろしくお願いします。



「ドキュメンテーション」をご覧ください

園では、子どもたちの日常の姿をできるだけタイムリーに保護者の皆さんに発信するツールとして、写真と言葉で解説した「ドキュメンテーション」を作成しています。

その日取り組んだ活動の様子からうかがえる子どもの発達や成長、子ども同士の関係性等々、担任ならではの視点で読み解き、紹介しています。

廊下や玄関に掲示したり、印刷物として配布したりしています。

お子様の学年以外のドキュメンテーションもご覧いただければありがたいです。

また、よろしかったら感想などをお聞かせください。



前日の出来事の記事を登園時、親子一緒にご覧になっていました

ほいくの窓 ※このコーナーは特別支援教育部が担当しています

イヤイヤ期の次は・・・反抗期? 大人も子どもも戸惑う『4歳の壁』

4歳くらいになると脳が著しく発達し、「現在」と「自分」が中心だった世界が、「過去」や「未来」をイメージできるようになり、周りの人の気持ちも考えられるようになります。身体も成長し、できることも増えます。好奇心旺盛に粘り強く頑張ろうとする自励心(自分自身を励ます心)や、自分の欲求を我慢する自制心も生まれてきます。また、自意識も芽生えるので周りの目を気にすることが増えたりします。

子どもはこうした急な発達に追いつけず、自分の気持ちに戸惑い、心をうまくコントロールできなくなってしまう。もどかしさを感じて泣いたり、急に甘えたり、思い通りにできないと怒ったりして情緒が不安定になります。2歳頃のイヤイヤ期よりも複雑で自分なりの思いや理由がある上での反抗が増えてきます。これが『4歳の壁』です。

様々な葛藤や戸惑いの中で過ごす4歳児はトライ&エラーの繰り返しです。友達との関わりの中でも我慢することが出てきます。だからこそ子どもの揺らぐ気持ちを丁寧に受け止めたり、困った時にはさりげなくヒントを出したりして自分でやり遂げる経験を重ねられるようなサポートが大事になってきます。

反抗的な言動にも理由があります。先が見通せるようになったことで失敗することへの恐れや葛藤を抱えていることもあるかもしれません。冷静に向き合ってイライラの原因を丁寧に探っていきましょう。



『4歳の壁』は「心が成長している証拠」。子どもは「頑張る場面」と「甘える場面」のバランスを取りながらこの過渡期を乗り越えていきます。安全基地の大人の所へ甘えてきた時は十分受け止めてあげましょうね。

ですが、子どもの成長を見守る大人も『4歳の壁』に戸惑いますよね。成長の過程は人それぞれです。性格も様々ですし、個人差もありますから、子育てに正解はありません。正解や完璧を求めるのではなく「子どもってこんな時期があるのね」と知っておくだけでも子どもと向き合いやすくなり、気持ちも少し楽になるかもしれません。

困った時は園にご相談ください。「子どものいろいろな〇〇期」を一緒に乗り越えていきましょう!!